

問題 3 1 環境科学 設問すべてについて解答すること。

I 大気汚染物質として、粒子状物質 (particle matter) が問題となっている。その粒子の大きさにより健康への影響が異なるため、世界的にはPM10, PM2.5という分類が設けられているが、日本独自の基準として浮遊粒子状物質 (SPM) があり、PM6.5~7に対応している。

(1) PM10, PM2.5 の粒子の大きさの単位を記せ。また、PM10, SPM, PM2.5において健康への影響が大きい順に並べ、その理由を記せ。

(2) PM2.5の原因の1つとしてディーゼル車の排ガスがあげられる。ディーゼルエンジンでは均一燃焼が難しいため、ガソリンエンジンよりもPM排出量が多くなる。三元触媒 (ガソリンエンジンで排ガス中の有害物を同時に除去する触媒装置) が利用できないのも理由の1つである。排ガス中のPM2.5の値を下げるように燃焼を改善すると、逆にNOXの量が大きく増えてしまうことがある。その理由について説明せよ。また、ディーゼルエンジンにおいて三元触媒が利用できない理由を記せ。

(3) ディーゼルエンジン由来のPM2.5は、有機溶媒 (ジクロロメタン) に可溶性成分SOFと不溶性成分ISFの2種類がある。SOFとISFの例を1つずつ記せ。また各々が、排出時にすでに粒子状になっている一次粒子と、大気中で化学反応して二次的に粒子化するもののいずれであるかを記せ。

(4) 日本において、黄砂は天然由来のSPM (またはPM2.5) の1つとなる。黄砂は環境汚染物質としてとらえられることが多いが、日本学術会議のレポートにも記されているように全地球的に見ると「環境的利益」も生んでいる。「環境的利益」について例を1つあげて説明せよ。

II 東日本大震災以降、火力発電の比率が大きく上がっている。火力発電の燃料としては石炭、石油、天然ガスがある。

(1) 3つの燃料を比較すると、1トン当たりの発電量 (熱量と考えても良い) は石炭が最も小さくなる。その理由を記せ。また、この欠点があるにもかかわらず、現状は石炭が天然ガスと同じくらいの比率で燃料として用いられている。その理由を記せ。

(2) 火力発電は、排ガス中のNOXとSOXを除くために脱硝装置と脱硫装置がつけられている。石炭、石油、天然ガスのうち1つだけは脱硫装置は必要ない。それはどれかを記せ。また3つの燃料において1MWh発電したときのNOXの発生量が多い順に並べよ。

(3) 石炭を燃料とする場合、フライ・アッシュ (SiO_2 , Al_2O_3 , Fe_2O_3 , CaO , MgO など) が発生する。現在では、このフライ・アッシュはあるものの原料として有効利用されている。それは何かを記せ。

(4) 石油や石炭と違い、天然ガスは大気中に放出されると、それが微量であっても環境に大きな影響を与える。その理由を記せ。

問題32 人間工学・組織行動学 設問すべてについて解答すること。

I 次の(1)～(4)の問いに答えよ。

- (1) 仮現運動を説明せよ。
- (2) オMISSION・エラー (omission error) を説明せよ。
- (3) 組織文化を説明せよ。
- (4) リーダーシップの機能論を説明せよ。

II 人間工学にはエルゴノミクス (Ergonomics) とヒューマンファクターズ (Human Factors) の2つの流れが存在する。このことに関して、次の問いに解答せよ。

- (1) エルゴノミクスとヒューマンファクターズのそれぞれについて、発展した地域、研究領域や対象、目的に関して説明せよ。
- (2) 近年エルゴノミクスとヒューマンファクターズは融合し、同一の学問分野として認識されている。国際人間工学連合 (International Ergonomics Association) は、人間工学の主な研究領域として、Physical Ergonomics, Cognitive Ergonomics, Organizational Ergonomics の3つを定めている。この3つの領域が扱う対象について、領域別に説明せよ。

III 私たちの社会は、相互に密接に関連する多様な下位システムによって構成された1つのシステムとしてとらえることができる。こうしたシステムに対するマネジメントに関して、次の問いに答えよ。

- (1) マネジメントを実行するものと人間の関係について、くわしく説明せよ。
- (2) マネジメントに対する人間工学及び組織行動学の役割について、くわしく説明せよ。

問題33 システム分析 設問すべてについて解答すること。

I 駅前コンビニエンスストアのチェーン店（店舗数 26）の最寄り駅の乗降客数（ x_1 ：百人／日），間口の広さ（ x_2 ：m），品目数（ x_3 ），および売上高（ y ：万円／月）のデータがある。4 つの変数間に図 1（因果ダイアグラム）の因果関係が仮説としてある。以下の問に答えよ。

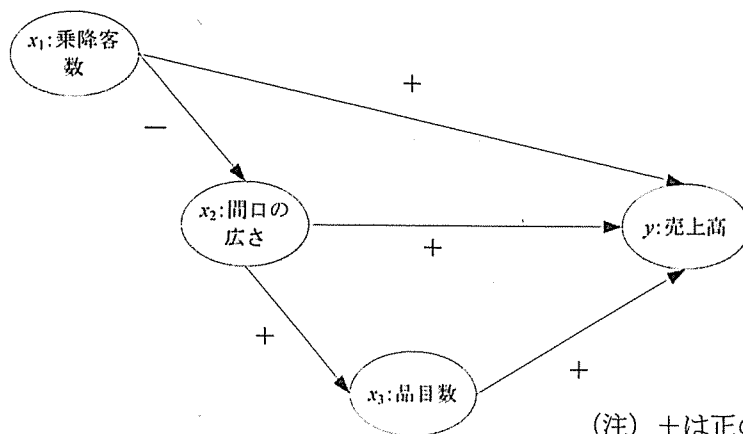


図 1 因果ダイアグラム

(1) 4 変数の相関係数行列を以下に示す。

	x_1	x_2	x_3	y
乗降客数 x_1	1.00	-0.62	-0.47	0.65
間口の広さ x_2	-0.62	1.00	0.79	-0.09
品目数 x_3	-0.47	0.79	1.00	0.24
売上高 y	0.65	-0.09	0.24	1.00

間口の広さ x_2 と売上高 y との相関係数は -0.09 である。 x_1 と x_2 を説明変数， y を目的変数として回帰分析を行った結果

$$y = 136.38 + \underset{(F=30.88)}{0.71} x_1 + \underset{(F=8.621)}{17.15} x_2$$

となった。ここで x_2 に着目せよ。 y との相関係数は負であり，かつ 0 に近いにもかかわらず，回帰係数の値が正 (17.15) であり，かつ F 値が大きい値 (8.621) となった。図 1 の因果が成立しているとして，このような結果になった理由を説明せよ。

(2) (1)の解析の続きとして，説明変数に x_3 も加えて回帰分析を行った結果

$$y = 132.56 + \underset{(F=62.86)}{0.69} x_1 - \underset{(F=0.664)}{4.73} x_2 + \underset{(F=27.10)}{0.57} x_3$$

となった。再び， x_2 に着目せよ。回帰係数の値が負 (-4.73) となり，F 値が小さな値 (0.664) となった。なぜ，このような結果になったのかを，図 1 の因果ダイアグラムを用いて説明せよ。また，必要であれば図 1 の仮説を見直すこと。

Ⅱ 次の(1)(2)の問いについて答えよ。

(1) 一般に、システムにはシステムレベル(水準)がある。「自動車」システムについて、そのシステムに関連した「レベルの高い(上位水準の)システム」、「レベルの低い(下位水準の)システム」の例をそれぞれ示せ。また、「レベルの高いシステム」と「レベルの低いシステム」の間にはどのような関係があるか説明せよ。さらに、その関係を把握することはシステム分析においてどのような利点があるのか述べよ。

(2) 駅や商業施設等の駐輪場以外に停められている自転車が問題となっている。その問題について、現状問題構造ツリー(CRT)を作成し、その問題構造を明確にせよ。

はじめに、「駐輪場以外に自転車が停められている」という問題に加えて、自転車の駐輪に関する現状の問題(望ましくない状況)を3つ示せ。

つづいて、指摘した問題(「駐輪場以外に自転車が停められている」を含む4つの問題)から、「原因と結果」を示した現状問題構造ツリーを作成せよ。また、その図から中核問題についても答えよ。なお、図では、不足している「原因」や「結果」等を適宜補い4つの問題すべてを関係づけること。

問題34 オペレーションズリサーチ・最適化 設問すべてについて解答すること。

I 次の線形計画問題(P)について、(1)～(3)の問いに答えよ。

$$(P) \quad z = 2x_1 + 3x_2 \rightarrow \text{最大化}$$

$$\text{制約条件} \quad 3x_1 + x_2 \leq 60$$

$$x_1 + 4x_2 \leq 40$$

$$x_1 \geq 0, x_2 \geq 0.$$

- (1) 問題 (P) として定式化できる具体的な問題例を1つ示せ。
- (2) 問題 (P) を標準形の問題 (制約条件が等式制約と、変数の非負制約のみからなる問題) に直せ。
- (3) (2) で求めた標準形の問題を (Q) とする。シンプレックス法を用いて問題 (Q) の最適解を求めよ。また、その結果から問題 (P) の最適解を示せ。

II 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

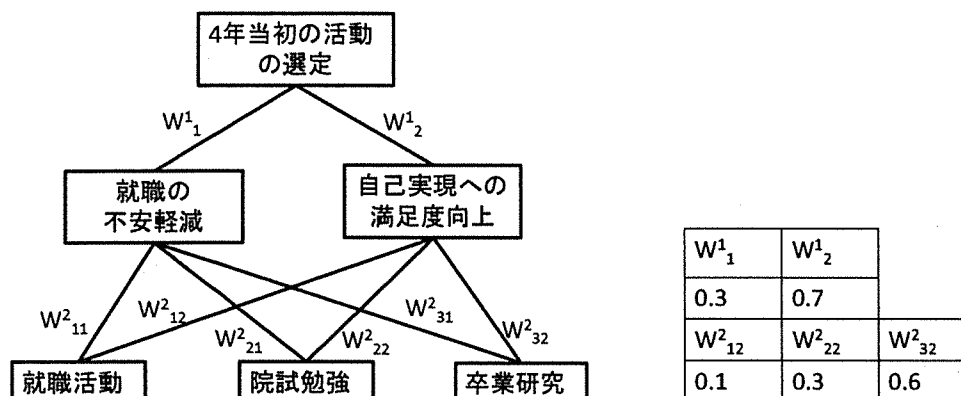
(1) 次の確率分布で与えられる確率変数 X を考える。

$$P(X=1) = \frac{1}{5}, P(X=2) = \frac{3}{10}, P(X=3) = \frac{1}{2}$$

- (a) X の期待値と分散を求めよ。
 - (b) 表が出る確率が p ($0 < p < 1$) のコインを X 回投げるとする。コイン投げの回数 X は先に示した分布に従うものとし、コイン投げは独立試行とする。 X 回のうち表がでた回数を Y とする。確率分布 $P(Y=2)$ ならびに期待値 $E[Y]$ を求めよ。
- (2) M/M/3 待ち行列を考える。到着率は λ 、平均サービス時間は $\frac{1}{\mu}$ である。 $\lambda < 3\mu$ とする。サービスは先着順とする。
- (a) 時刻 $t(>0)$ までに到着する人数を $N(t)$ とする。 $N(t)$ の確率分布 $P(N(t)=n)$ ($n=0,1,2,\dots$) を示せ。
 - (b) ある客 A の到着直前に、サービス中の客を含め7人の客が系内にいたとする。この客 A の待ち時間を W とするとき、 W の分布 $P(W \leq x)$ を求めよ。

Ⅲ 次の(1)～(3)のすべての問いに答えよ。

意思決定を行う際には、様々な評価の側面を考慮すべきである。ここでは、4年生になったときに、当初の活動を選定するために、下図のような階層図を作成して、検討したと想定して、以下の問題に答えよ。



- (1) 上図の重みのうち、就職の不安軽減に対する各活動の有効性を示す重み w^2_{11} , w^2_{21} , w^2_{31} を決めるために下記に示すような一対比較表を作成したら、一貫性が完全に成立する表が得られた。一意に定まるものではないが、一貫性がある一対比較表になっていれば、正解とするので、一対比較表を作成し、それに対応する重みを求めよ。

就職の不安軽減	就職活動	院試勉強	卒業研究
就職活動			
院試勉強			
卒業研究			

W^2_{11}	W^2_{21}	W^2_{31}

- (2) 上の設問(1)で求めた重みと、上図の横の表に示している重みの数値を用いて、各活動のスコアを求め、最適な活動の一つを選択せよ。
- (3) 上述の手順は、「大学4年当初の活動の選定」という検討課題にAHPの手順を適用し、最適な活動の一つを求めるものであった。しかし、「大学4年当初の活動の選定」という検討課題は、どれか一つを選択すればよいという問題であろうか。大学4年当初の有効な過ごし方の検討に、上述の手順を有効に利用するには、どのように過ごし方を決定すべきか述べよ。

問題35 産業社会システム 設問すべてについて解答すること。

次のⅠ～Ⅲの問いについて答えよ。

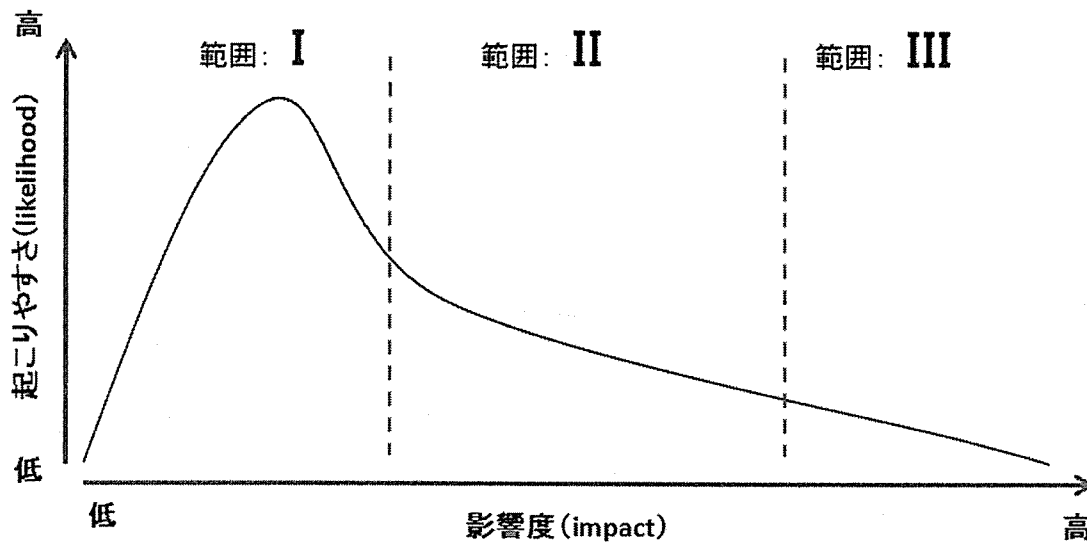
Ⅰ. 大地震などの大規模災害のリスクを評価する際に用いる損失のうち、物理的な施設の崩壊や損傷に伴う売上げの逸失などの損失を何というか。また、具体例を挙げよ。

Ⅱ. 事業継続マネジメント (Business Continuity Management) における BIA (Business Impact Analysis : ビジネス影響度分析) について解説せよ。

Ⅲ. ある企業を取り巻くリスク群の分布が下図のようになっている場合、

(1) 経理部門の伝票入力作業で数字入力のミスが発生するリスクは下図のどの範囲 (Ⅰ, Ⅱ, もしくはⅢ) に入ると考えられるか、説明せよ。

(2) 範囲Ⅲに入るようなリスク群を何と呼称するか。



問題36 マネジメント工学 設問すべてについて解答すること。

I 次の(1)～(3)の問いについて答えよ。

- (1) SERVQUAL は、A. Parasuraman らが開発したサービス品質測定ツールである。病院の顧客に対して行ったアンケートを分析した結果は、以下の通りである。この結果から、この病院が改善すべきサービスとその例を示せ。

要因	重み/100	知覚得点平均	期待値得点
有形性	0.11	5.54	5.16
信頼性	0.32	5.16	6.44
反応性	0.22	5.20	6.36
確実性	0.19	5.50	6.50
共感性	0.16	5.16	6.28
重み付き平均		5.28	6.27

(顧客志向ビジネス・イノベーションのためのサービス科学に基づく高度専門職業人育成プログラムの開発：サービス・イノベーション方法論 より)

- (2) カルロス・ゴーンはその著書の中で、以下のように述べている。

「部門ごとに問題に取り組み、解決策を見出そうとした。そして、何かしらの策は見つけるのだが、部門内だけの解決策で、会社全体の問題の核心に迫るものではなかった。」
この状況を解決するために、事業を行っている地域（日本、北米、欧州、その他）で分けた地域軸と職務内容（マーケティング・販売、商品企画、技術・開発、生産、購買、経理・財務・人事、コーポレート・サポートなど）で分けた機能軸を置いて運営しようとした。

- (a) このような組織構造の名称を示せ。
(b) この組織の下で働く社員が、地域軸と機能軸の夫々で持つ必要がある責任を示せ。
(c) この組織では、極めて高い透明性と絶え間のないコミュニケーションが必要となる理由を示せ。
- (3) プロジェクトにおいて、顧客要求から仕様を定めるプロセスは、それ以降の作業の成否を決める重要なプロセスである。標準的な手順として、システム・エンジニアリング・プロセスは、以下で構成されている。

要求分析 → 要求の確定 → 機能分析 → 機能の確定 → 機能の合成 → 設計の確定

- (a) 要求分析で行うべきことを、少なくとも3つ述べよ。
(b) 機能分析で行うべきことを、少なくとも3つ述べよ。

II 次の(1)～(3)の問いについて答えよ。

(1) 下記(a), (b)について, 200 文字程度で説明せよ。

- (a) MRP (Materials Requirements Planning)の目的と問題点
- (b) セル生産の特徴と導入の効果 (効果が得られる理由も記述せよ)

(2) 下記の条件について記号(R_c, R_p, C_s, C_h, T)を利用して, (a)～(d)の問いに答えよ。

T 期間内の見込み需要量	R_c
工場での T 期内の生産可能量	R_p
1 回の発注費用	C_s
T 期間内で 1 個あたり製品保管費用	C_h

なお, 需要量は期間内で一定とし, 安全在庫は考慮しない。

- (a) 発注量 x とした場合での, T 期間の発注費用を算出する式を記述せよ。
- (b) 発注量 x とした場合での, 1 個あたりの在庫費用を算出する式を記述せよ。
- (c) 総費用を最小とする発注量 (最適発注量) を算出する式を記述せよ。
- (d) 発注間隔 (期間) を算出する式を記述せよ。

(3) 下記の計画条件について, 差し立て規則を利用してスケジュールを作成し, 平均納期遅れとメイクスパンの値を算出せよ。差し立て規則は SPT ルールを利用せよ。なお, 複数ジョブが競合時, ジョブの選択対象の評価値が同一の場合はジョブ番号の小さいジョブを優先せよ。計算結果は小数点第 1 位まで表記せよ。また, スケジュールのガントチャートを作成せよ。

計画条件		
	通過機械順序と処理時間 (時間の単位は“時間”)	納期 (時間)
ジョブ 1	機械 A(4)→機械 C(6) →機械 B(8)	24
ジョブ 2	機械 A(6)→機械 B(6) →機械 C(4)	20
ジョブ 3	機械 B(4)→機械 C(8) →機械 A(6)	22

問題37 デザイン理論 設問すべてについて解答すること。

I 次の(1)～(2)の問いについて答えよ。

(1) 次の①～③からデザイナーを一人選び、その業績を250字程度で記述せよ。

- ① ヘリット・リートフェルト ② シャルロット・ペリアン ③ 内田繁

(2) 上記で選択したデザイナーの代表的な作品を挙げ、その特徴を250字程度で記述せよ。

II 次の①～②の事項のうちから一つを選び、デザイン分野とその語句との関係性を350字程度で説明せよ。

- ① ランドスケープデザインとインスタレーション
② インテリアデザインとコンバージョン

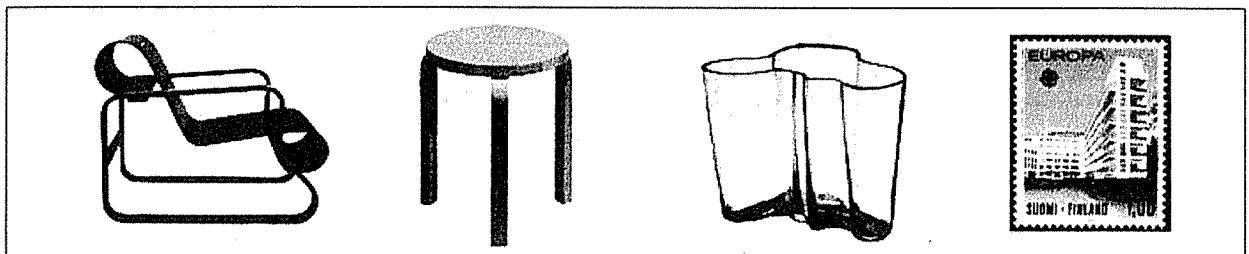
III 次の枠内に示した一連の画像群に関して、(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) この画像群と関連するモダンデザイン史上の重要人物は誰か。名前をフルネームで答えよ。

(2) その人物がデザイン史上重要な仕事を多く残した時代は以下のうちどれか。番号で答えよ。

- ① 1920年代-30年代 ② 1950代-60年代 ③ 1970代-1980年代

(3) 下の作品群中でも用いられている技術(特許を含む)や材料、設計上の工夫、配慮、意図などから3つ以上の重要項目に言及しながら、この人物の業績を450字程度で解説せよ。なお、言及した重要項目は下線を引いて明示せよ。



IV 次の①～③の事項から一つを選び、そのデザイン史上の意義について300字程度でまとめよ。その際、まず、背景となった年代(○年、○○年代、○○年頃など適宜)と関連する場所(国、都市名など)を字数に含めず記し、その後、解説文中で、関連する人物、建築物、システム、技術、理念、傾向などから3つ以上の重要事項に言及せよ。また、言及した重要項目は下線を引いて明示せよ。

- ① 第1回万国博覧会 ② T型フォードとフォーディズム ③ コンセプチュアルデザイン

問題38 デザイン制作 設問すべてについて解答すること。

I 次の(1)～(6)の問いについて答えよ。

(A) と (B) が出会った1940年、ふたりにとってもうひとつ重要な出来事があった。MoMA^①が「住宅室内のためのオーガニック^②家具デザイン」という異例のコンペを開催したのである。この歴史的なコンペは、優勝作品の製造・販売を競技規定の中で約束した。(中略)

MoMAは、「オーガニック」という言葉を次のように定義していた。「全体を構成する各パートが、構造・素材・目的の全てで調和をなしている時〈オーガニックなデザイン〉と呼ぶことができる。」^③クランブルック[※]の盟友(A)と(C)は、このコンペのためにたくさんの家具を協同制作し、6部門中2部門で優勝した。(B)は模型や図面の制作を担当した。

※クランブルック・アカデミー・オブ・アート (Cranbrook Academy of Art)

- (1) 下線部①の「MoMA」とは何か。日本語表記で答えよ。
- (2) 空欄(A), (B)に入る最も適当な人名を述べよ。
- (3) 下線部②の「オーガニック」を日本語で表現せよ。
- (4) 下線部③の定義のような〈オーガニックなデザイン〉の事例を、実際のデザインの事例をあげ50文字程度で簡潔に説明せよ。
- (5) 空欄(C)に入る最も適当な人物を以下の語群から選べ。
エーロ・サーリネン、ハリー・ベルトイヤ、アルネ・ヤコブセン、エットレ・ソットサス
- (6) 文中の〈オーガニックなデザイン〉のように、構造や素材、目的その他のデザインの諸条件間の関係においていずれかの関係が調和をなしているデザイン案を提案せよ。提案は、絵、図面、コメントでその必要性や魅力についてプレゼンテーション資料の体裁で表現すること。解答は、解答用紙裏面を用いて表現すること。

問題 3 9 経営戦略 設問すべてについて解答すること。

I 「競争戦略」に関する次の（１）～（４）の問いについて答えよ。

（１）M. E. ポーターの提唱する「価値連鎖（バリューチェーン）」について定義し、さらにそれを構成する諸活動について説明しなさい。

（２）「価値連鎖（バリューチェーン）」を分析することの経営戦略上の目的を、当該企業の「競争優位」概念との関係に留意しながら説明しなさい。

（３）プラハラッドの提唱した「コア・コンピタンス」概念について市場および競争力という側面から説明しなさい。

（４）「コア・コンピタンス」の視点から「競争戦略」の問題点について論じなさい。

II 「多角化戦略」に関する次の（１）～（２）の問いについて答えよ。

米系のD社は、19世紀初頭に火薬製造事業から創業し、硫黄の精製を目的に石油採掘を開始した。その後、火薬の米国内販売から欧州への輸出販売にも展開し、化学肥料、化学繊維、飼料などの関連分野へと拡大し、さらに自動車・鉄道・建築用材料、ディスプレイ・半導体用材料、食品・飲料、農業、バイオテクノロジー、医療機器、ヘルスケアに、事業を多角化させている。

（１）D社の事業「多角化」の過程について、アンゾフ「成長のベクトル」を用いて解説しなさい。

（２）（１）でまとめたD社の事業の「多角化」のプロセスを構成する「成長のベクトル」の４つのそれぞれのベクトルにおける「シナジー効果」について述べなさい。

問題40 マーケティング 設問すべてについて解答すること。

I. 以下の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

「ノンアルコールビール」は、今では市場に普及し、一般消費者にとって身近な存在になっています。しかし、2009年に麒麟ビール株式会社が「キリンフリー」という商品を出すまでは、なかなか普及しませんでした。

その理由は、それまで市場は、アルコール成分1%未満のビール風飲料を「ノンアルコールビール」と定義していたためだと言われています。「キリンフリー」はアルコール成分0.00%と表示して発売しました。

ちなみに「キリンフリー」は、飲酒運転撲滅に向けた様々なキャンペーン活動を展開しています。

(問1) 現在のように「ノンアルコールビール」市場が拡大し認知度も高まった理由について、従来の「ノンアルコールビール」のマーケティングと比較し、ターゲティングの相違を述べなさい。

(問2) (問1)で述べた相違をもとに、「ノンアルコールビール」が、あらたな市場を開拓していったプロセスについて分析しなさい。

(問3) 「ノンアルコールビール」は、本来のアルコール飲料としての「ビール」市場における販売状況や商品開発に、どのような影響をあたえてきたと考えられるか、分析しなさい。

Ⅱ. 以下の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

平成 18 年に「団体商標制度」が施行され、地域ブランドが商標として登録できるようになりました。一方、「ゆるキャラ」「B 級グルメ」など地域振興を意図した活動が活発になっています。

そこで「地域ブランド」をマーケティングの観点で考えてみましょう。「ブランド」の基本は、「名称やロゴマークなどが具体的な商品を連想させるものであること」であり、既存の名称やロゴマークとの明確な区別にあります。次に、その区別が商品の品質や性能の違いとして利用者に伝わり、意識的な購入を促すものであることが必要です。さらに「ブランドロイヤルティ（忠誠心）」を引き出すことになれば、強いブランドということができます。

そのためには、消費者の意識の中に狙い通りに「ポジショニング」する名称やロゴマークを創設しなくてはなりません。

では、「松阪牛」を例に考えてみましょう。

「松阪牛」は三重県松坂市を中心とする地域で団体商標登録された牛のことです。「松阪牛」として登録される牛は、数々の条件を満たす場合に限定されています。公式ホームページ (<http://www.matsusakaushi.jp/>) によりますと「生後 12 ヶ月齢までに松阪牛生産区域に導入され、松阪牛個体識別管理システムに登録された黒毛和種、未經産の雌牛」であり、肥育期間は「生産区域でのみ肥育され生産区域での肥育期間が最長・最終」などの条件を満たし出荷されたものに限定されています。

さらに、流通販売時には松阪牛個体識別管理システムにより「松阪牛証明書」「松阪牛シール」が発行されることになっており、その品質も厳しく管理されています。

このことにより、消費者は、「松阪牛」を選んで購入し、品質の確かさを確信し、満足し、食べたことを人に自慢さえするようになります。

(問 1) 上記の文章を踏まえて、「ゆるキャラ」を、「地域ブランド」にすることが可能かどうか、以下の要領にそって説明しなさい。まず‘事例： _____’として、冒頭にどのような具体的事例を用いて説明するのか明記し、①その「区別性」、②品質や性能の優位性の「認知」、③「ロイヤルティ」、の 3 つの観点についてそれぞれ説明しなさい。

(問 2) 上記の文章を踏まえて、「B 級グルメ」を「地域ブランド」として定着させるにはどのようにすればよいか、説明しなさい。まず‘事例： _____’として、冒頭にどのような具体的事例を用いて説明するのか明記し、①その「区別性」、②品質や性能の優位性の「認知」、③「ロイヤルティ」、の 3 つの観点についてそれぞれ説明しなさい。

問題4 1 経営管理 設問すべてについて解答すること。

I 次の(1)～(2)の問いについて答えよ。

- (1) X社の自己資本比率が、同じ産業で競合する他社に比して高い場合、X社の経営実態についてどのような判断ができると考えられるか。自己資本比率の定義を明確に述べた上で、安全性および収益性の観点から十分な検討を行い、論じなさい。
- (2) 当座資産とは何か、説明しなさい。その上で、Y社の当座比率が、同じ産業で競合する他社に比して低い場合、Y社の経営実態についてどのような判断ができると考えられるか。当座比率の定義に必ず言及した上で、十分な検討を行い論じること。

II 次の(1)～(3)の問いについて答えよ。

- (1) 有価証券の評価方法は、1)時価主義、および、2)原価主義に大別される。1)を採用した場合と 2)を採用した場合とでは、算出される利益が異なる。その理由を丁寧に説明しなさい。その際には、「貸借対照表」および「損益計算書」における諸項目がどのような状態になっているかを明確に述べること。
- (2) 他の事情を一定とする。保有する全ての有価証券の評価を、a)時価主義で行う場合と、b)原価主義で行う場合を仮想的に考える。(1)の解答を踏まえると、a)の場合とb)の場合とで、当該企業の有価証券保有・売買行動および本業の事業活動にはどのような相違が表れると考えられるか。丁寧に論じなさい。
- (3) 「黒字倒産」の発生理由を説明しなさい。その際には、「貸借対照表」「損益計算書」および「キャッシュフロー計算書」における諸項目がどのような状態になっているかを、丁寧に述べること。